こだまだより



武蔵野市立桜野小学校こだま学級
令和８年度　11・12月号

近年は、春や秋が短いと言われますが、今年は、涼しく過ごしやすい日も多く、秋らしさを十分に味わえる年になりそうです。落ち葉の色づきや澄んだ空気、旬の食べ物など、今だけの秋らしさに子供たちと一緒に目を向けてみたいですね。寒暖差や、インフルエンザの流行による学級閉鎖などの報告も聞きますので、体調管理には十分お気を付けください。

11月～1月初めの予定

11月　3日（火）文化の日

11日（水）難聴グループ　午後一部指導なし

17日（火）こだま学級保護者学習会　10:00～12:00

23日（月）勤労感謝の日

25日（水）吃音グループ（吃音こだまカフェ）午後一部指導なし

30日（月）桜野小音楽会振替休業日　指導なし

12月　18日（金）２学期通級指導終了

1月　8日（金）３学期通級指導開始

学級閉鎖について

〇感染症で在籍学級が学級閉鎖等になった場合は、通級もお休みとなります。

上履き・スリッパについて

★通級棟に入ってから、こだま学級に来るまでの階段や廊下では、必ず上履きやスリッパを着用ください。

★２学期最後の通級の日に上履きを持ち帰り、サイズや記名の確認をしていただき、３学期の通級日にお持ちください。



「３年生の児童を対象とした難聴理解授業」と、「第一中学校エコールームとの交流」を実施したので、ご紹介いたします。

難聴理解授業～聞こえにくいってどんなこと？～

10 月 22 日（木）、桜野小学校の３年生を対象に、難聴の理解授業を行いました。
授業は、

① こだま学級の紹介
② 難聴の体験（再現音声を聞く）
③ 難聴のある子への伝え方を考える。
④ 生活の中で困ることや、それをサポートする方法を学んだり考えたりする。

といった内容で行いました。

文字や ゆびで つたえる！
じゅんばんに 話す！
ゆっくりはっきり 話す！





授業後の子供たちの感想を一部抜粋いたします。

「聞こえづらい人は、自分が思った以上に聞こえづらいことが初めて分かった。」
「聞こえづらい人の気持ちがわかった。」
「もしクラスに聞こえづらい人がいたら、助けたり、聞こえやすいように工夫したりしたい。」

子供たちは、授業によく耳を傾けて、難聴のある子の聞こえ方や手助けできることについて、よく考えていました。通級児童にとっても、在籍学級の他の児童にとっても、「難聴への理解」「他者への優しさや思いやり」を育む学習の場になるよう今後も努めてまいります。

こだま学級では、各在籍学級においても難聴や吃音についての理解授業を行っています。本人・保護者・担任の先生で授業のご要望があれば当学級の担当者にお伝えください。

第一中学校　エコールームとの交流会

10 月８日（水）に、第一中学校エコールーム（難聴学級）で、難聴の児童・生徒同士の交流を行いました。第一中学校は今年から新しい校舎となったので、エコールームの施設の他にも、教室や図書室、体育館などを見せてもらいながら説明を聞きました。こだま学級の児童からは、部活や委員会、中学校生活についての質問も出て、中学校生活に興味をもちつつ、今後の進路について考える機会になりました。児童生徒が計画した玉入れ鬼ごっこやハンカチ落としなどの遊びを通して交流が生まれ、楽しみも学びも詰まった会となりました。





